瑞穂中学校だより

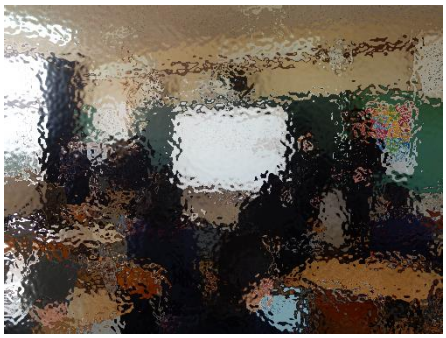
【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年3月1日（水） NO. 34 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

授業参観（1，2年生）、学級学年育友会

2／24（金）に、1、2年生の授業参観と学級学年育友会がありました。お忙しい中に各学級とも半数を超える多くの保護者の方に来校いただき、ありがとうございました。

授業参観では、1年生は総合的な学習の時間に取り組んだ「職業調べ」を、2年生も同じく総合的な学習の時間に取り組んだ「SDGs」について各学級で発表しました。どの学年もタブレット端末と電子黒板を利用した発表でした。また、1年生は一人ずつの個人発表で、2年生はグループごとの発表でした。多くの保護者を前に、生徒も緊張したと思いますが、しっかり発表しました。我が子の発表する姿をご覧になって保護者の方はどのような感想を持たれたでしょうか？ 当日夜の話題の一つになったことでしょう。授業参観後は、今年度の育友会関係の活動の振り返り等がなされるとともに情報交換がありました。



2年生の授業風景

学校支援会議

2／27（月）に学校支援会議がありました。メンバーは下表のとおりです。

学校評議員	江川 儀平 様	育友会副会長	雪屋 昌 児 様
学校評議員	力野 和久 様	育友会副会長	小笹 麻衣子 様
学校評議員	宮﨑 登喜子 様	育友会副会長	坂口 良子 様
主任児童委員	新 前田 泰隆 様	学校代表（校長）	柏原 哲郎
主任児童委員	新 林 千代子 様	学校代表（教頭）	藤田 明子
育友会会長	鵜殿 光輝 様		

新旧の主任児童委員の入れ替わりに伴い、本メンバーにも新しくお二人を迎えました。また、学校評議員の江川様については、市の教育委員に就任されたので、本年度限りで本メンバーを退かれます。これまでありがとうございました。

さて、学校支援会議の始まる前に、校舎を巡回しながら窓越しではありましたが、授業参観をしていただきました。巡回する際は校内のWi−Fi環境について、ルーターやその配線の状況等を説明しました。また、各授業では多くの教科でタブレット端末を活用した授業が見られました。その中には、欠席者のためにオンライン授業を行っていた教科もありました。どの学年学級の生徒もそれぞれの授業に一生懸命に取り組

んでいました。

学校支援会議ではまず、本年度の学校経営方針（グランドデザイン）を振り返るとともに、3学期の学校経営方針を説明しました。そして、生徒の様子（学力面、生活面、部活動、学校関係者評価）等をお伝えしました。その後、タブレット端末の活用状況、部活動の地域移行、コミュニティースクール、あいさつ、学力向上に向けて等について情報交換を行いました。そんな中で、自転車置き場が車道に沿って位置しているので車の通行等を考えた動きが大切であるという生徒への注意促しがありました。気を付けさせたいと思います。いろんな貴重な意見等をいただき、今後に活かしていきたいと考えています。また、卒業式のマスクについての話題もありました。この件については、後述します。学校支援会議のメンバーの皆様、大変ありがとうございました。

卒業式のマスクの取扱いについて

文科省より、「卒業式におけるマスク着用については、卒業式の教育的意義を考慮し、児童生徒等はマスクを着用せず出席することを基本とする」という指針が示されました。それを受け、本校の卒業式（3／14）のマスクの取り扱いについては、一気に進めることへの不安があり、次のように考えています。

○ 卒業式の主役である3年生は入場から退場までの卒業式の間はマスクを着用しない。教職員及び在校生（1、2年生）は、卒業式の間マスクを着用する。保護者等及び来賓（育友会長・主任児童委員・学校評議員）にはマスクの着用をお願いする。ただし、マスクの着脱は強制ではなく、体調等や不安感を考慮して、それぞれの生徒及び保護者等の意思を尊重する。

○ 歌唱については、国歌は音楽のみ、在校生の歌（マスク着用）と卒業生の歌（マスク着用なし）は対面形式で歌唱する。校歌は全員がステージを向き、全員で歌唱する。

○ 校長は卒業証書授与ではマスクを着用し、式辞ではマスクをとる。また、2年生代表の送る言葉の時は、代表はマスクをとる。

今回のマスクの取り扱いはあくまで卒業式に限ったものです。国は「3月13日以降は、マスクの着脱は本人の意思に委ねる」との方針を示しています。しかし、学校においては3月31日までの年度内における卒業式以外の学校教育活動においては、従来どおり、文科省が作成する「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を踏まえるとなっています。3月中は今まで通りということです。これはマスクの取り扱いだけではなく、本人及び同居家族等の発熱等の症状がみられる場合の対応もこれまでと同じになります。しかし、4月1日以降の新学期におけるマスクの着用の考え方については、「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」となっています。詳細は、改めて文科省から通知が来る予定です。詳しいことが分かり次第お伝えします。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

中学校の英語の授業を体験しよう!!

このタイトルは、昨日の2／28（火）に西郷小と岩戸小の6年生を対象に西郷小で実施した英語科の小中連携授業の「めあて」です。当日は本校英語科の力野教諭が出前授業を行いました。小学校で学んでいる外国語の授業に中学校の授業内容を加味しながらの、中学校での英語の勉強についての導入の導入的な授業でした。児童たちは熱心に、しかも楽しそうに取り組み、英語の授業を楽しんでいたように思います。中学校でも頑張ろう!!

大正小は3／8（水）を予定しています。よろしくお願いします。